



「教育と文化」をテーマに 次世代に学びの場を

「教育と文化」をテーマに、子どもの探究心や自分で考える力を育む場を提供する市民団体「ふくい教育文化推進協議会」が、今年4月に発足した。代表は建築・不動産サービス業を営む黒川真行さん(43)。仕事柄、空き家問題に取り組んだり、まちづくり団体を運営したりと、地域とのつながりを大切にしてきた。メンバーは黒川さんに加え10代から70代まで幅広い年齢の有志が集まった。そのほか、プロジェクトごとに賛同する人がいれば加わってもらい、必要に応じて専門家にも相談する。

3児の父親でもある黒川さんが「次世代の学び」について考えるきっかけとなったのは、子どもの小学校のPTA活動に関わったこと。「先生や保護者はもちろん、子ども達自身も、習い事などでとても忙しい、と感じた。

福井市 ふくい教育文化推進協議会

学校や家庭では教えきれないことを、地域やPTAで補えたら」と活動に注力。PTA会長時代には、仕入れや価格設定、販売まで全てを子どもが運営するフリーマーケットを開催した。また、海外から学者を招き講演会も開いた。そこで話者と子どもの対話の時間を設けるなど、生きた学びとなる場を提供した。

黒川さんは「目に見えない学びの結果は無くてもいい」という思いでやっている。大人になって「小学生の時に外国の学者と話をしたな」程度の小さな心に引っかかる経験をたくさん作りたい。その蓄積が人生を豊かにし、自ら考える力の土台になるのでは」と話す。

現在、藤島高校美術部と共同し、福井市の田原町商店街に協議会メンバー所有のビル壁面にアートを完成

させる。協議会としては最初のプロジェクトが進行中。ビルの壁をキャンパスに「何ができるか」から生徒たちが自考した。活発な意見交換の末、絵をボードに描き、壁面に取り付けることになった。黒川さんは「出した案が結果、実現不可能でもいい。そのひらめきや、考えるプロセスが大事」と力を込める。壁面アートは来年2月完成予定。

今後も「大学生による無料学習支援の場を作ったり、絵画やプログラミングなど子どもの興味があることを



壁面アートプロジェクトについて話し合う黒川さん(写真奥左)と藤島高校美術部員

代表の黒川さん

地域の大人が教えるような場を作ったり、実現したいことはたくさん」と意欲的に話した。協議会の活動に興味のある人は黒川さん＝090-2833-4141＝まで。



壁面アート完成場所

あなたの知らない 中国茶の世界

vol.4 紅茶が「正露丸」の匂い?

11月1日は「紅茶の日」でした。それにちなんで今月は紅茶のお話です。寒さが日に日に増すこの季節、温かい紅茶を飲むとリラックスして心も和みます。それもそのはず、紅茶は茶葉を100%発酵させる「完全発酵茶」とされ、中国茶6種の中で最も体を温める効果のあるお茶とされています。茶葉の色は黒に近い褐色のものが多い、味は甘みを感じるものが多いです。Vol.1で「全てのお茶が中国が祖」というお話をしました。世界で最初に作られた紅茶は、福建省武夷(ぶい)山産の「正山小種(ラフサンスーチョン)」という紅茶です。松で燻す工程があるため、味も香りも少し癖があります。日本では「正露丸」の匂いがある」といわれているようです。皆さんも見つけたら香りを試してみてください。その他、安徽(あんき)省産のキーマン紅茶は昔から英国王室でも愛飲され、



筆者所有の「正山小種」茶葉。薄茶色に光る若い芽が入っています



中国国内で手に入る「正山小種」は、日本などに輸出されるものと違って、あまり松の燻香が強くないといわれています。味はスッキリ、フルーティな味わいです。

筆者：石泉美さん
中国国家高級茶芸師資格を所有。紅茶はインドのダージリンが大好きな筆者です。

寒くなってきた今こそ！ よもぎ蒸しで体をいたわろう

冬の兆しも見え始め、日々深まる寒さを感じる近頃。冷えた足先を温め、寒さで縮こまった体をいたわりたくなったら、春江町の「リラクゼーションサロン Millela」(以下ミルラ)で「黄土よもぎ蒸し」を体験してみたいかがだろう。ミルラは坂井町出身の染橋佐佳枝さん(53)がアパートの一室で営むプライベートサロン。アットホームな雰囲気の魅力で、口コミで訪れるお客さんが多い。

「黄土よもぎ蒸し」とは、膾や肛門の粘膜に直接ヨモギの蒸気を当て、下半身から体を温める韓国発祥の民間療法。ミネラル成分を多く含む「黄土」で作られた穴あきの座浴椅子に座り、首から下は気密性の高いマントをすっぽりかぶる。国産の乾燥ヨモギを黄土製の容器に水と一緒に入れて温め、沸騰した蒸気をお尻の下から当てる。スチームサウナに入っているような感覚で、発汗によるデトックス効果があり、血行を促進。足には足湯のサービスも。個人

差はあるが、何度か通ううちに「冷え性が改善した」との声もあるそうだ。

ミルラのよもぎ蒸しには、他店と異なる特徴が。33種類のハーブの1つ1つの香りを嗅ぎ、選んだハーブをヨモギと一緒に入れてくれる。直感で「好きだな」と思ったハーブの香りに包まれ、よりリラックス効果が期待できる。さらにその選んだハーブの組み合わせで「今ちょっと疲れ気味」とか「ハッピーなことがあった」などの体や心の状態を染橋さんが読み取ってくれる。「自分でも気付いていない、今の自分」が知れるようで楽しい。

染橋さんはゆっくりと包み込むような話し方で、すぐにこちらの心がほぐれていくのがわかるほどの癒やし系。「女性はたくさん役割を求められています。時間を作ってここに来てもらって、少しでもご自身のことを考え、大切にしている時間の手助けができれば」と柔らかな笑顔で話してくれた。

移住を考えたくなるかもかも のどかで美しい集落の「カフェ・オハナ」

福井市中心部から車で約30分。鷹巣海水浴場を背にして1キロほど内陸に入った福井市西畑町にある「カフェ・オハナ」。農家民宿「オーベルジュ・フジフェルミエ」を営み、牧場を経営する夫婦が営む小さなカフェだ。オープンして1年半になる。限界集落化した西畑地区を、消滅の危機から救うために人を呼び寄せよう、豊かな自然を生かした農家民宿を始めた藤井省三さん。牧場ではヤギとヒツジ8頭を飼育して、誰でも自由に触れ合いを楽しんでもらえるようにしている。「このカフェは、牧場を訪れた人のインフォメーションセンターとしての役割も果たしたい」と話し、カフェや牧場に来たことをきっかけに、村や住民とつながりを深めて家族のような絆が生まれることを願っているそうだ。カ

フェはカウンター席が5席あるだけ。隣の客や藤井さん夫婦と気軽に会話できる距離感が魅力だ。店の自慢は、味に定評のある「武珈琲ラボ」の豆を使ったドリップコーヒーと昔ながらの伝統的な和食を取り入れたランチ。ランチは小豆や黒豆と炊いた酵素玄米に旬の素材の小鉢が付く。丁寧に調理され美しく盛り付けられた食事を、ゆっくりかみしめながら食べ進めていくと、おなかだけでなく心も満たされていくようだ。定期的に訪れるという女性は「昔懐かしい食事が見た目美しく盛り付けられていて、食べると心もほっこりする。省さんの話を聞くのも楽しみの一つ。気持ちを軌道修正できる気がする」と穏やかな笑みを浮かべた。

小さな店には、この地区を軸にし

た新しい出会いや絆が生まれるワクワク感が詰まっているよう。店名のオハナはハワイ語で「家族」というそうだ。たくさんの人と家族の絆を広げたいという夫婦の願いが込められている。



ランチセット(1,000円)



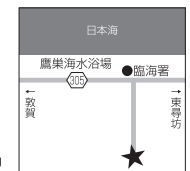
藤井省三さんと妻のジュンコさん



少し歩くとしなやぎとヒツジの牧場があり4頭ずつ別に飼育されている。写真はシバヤギ。ヒツジはアニメキャラクター「羊のショーン」でおなじみのサフォーク種。カフェで専用の餌(100円)を販売しているが、道端の草も喜んで食べるという

カフェ・オハナ

- 福井市西畑町2-17
- 090-2123-3851
- 午前11時～午後4時
- 木曜日(この他にも臨時休業あり)
- 5台
- ホームページ、グーグルマップで情報発信中



教えて！ 軒先に野鳥を呼んでみよう 家にいながら野鳥観察

餌をついばんだり、羽繕いしたりする姿を間近で見たいと、軒先に野鳥を呼び寄せる方法を福井市自然史博物館の学芸員・出口翔太さん(写真)に聞いた。

Q 秋は野鳥にとってどのような季節ですか？

A 渡り鳥の移動が始まり、観察できる鳥の種類に変化がある季節です。常在するスズメ、シジュウカラ、ヤマガラ、ウグイス、エナガ、ヒヨドリ、メジロ、コゲラなどに加えて、冬鳥のシメ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキなどが見られるようになります。ミズキ類やカキなどの実には鳥が群がる様子が見られることもあります。森の木々は葉を落として野鳥の姿が見つつけやすくなり、野鳥観察にはもってこいの季節です。

Q 軒先で眺めたり餌を与えたりしたいです。

A 野鳥が安心して食べられるよう、カラスの襲来や小動物の危険がない場所に餌を置いてみましょう。餌台は自然の木や縁に接するように置くと安心します。派手に装飾したりせず、ナチュラルな風合いがおすすめです。先ずは野鳥が餌を見つけてくれるまで1～2週間根気よく待ちましょう。

取材協力：福井市自然史博物館
● 福井市定町147 ● 0776-35-2844

Q 気を付けなくてはいけないことはありますか。

A 冬季の野鳥への餌やりは、厳冬に野鳥が命をつなぐためのサポートと捉えてください。野鳥が来てくれるようになったら、その命に責任を持ち、餌に困らなくなる春先までは続けましょう。

鳥の好む餌

- 柿、リンゴ、ミカンなど果物が好物
⇒ヒヨドリ、メジロ、ムクドリなど
- 米、パンなど穀物
⇒スズメ、キジバトなど
- ピーナッツ、ヒマワリの種
⇒シジュウカラなど
(先定で器用に皮をむきます)
- 牛脂(虫を好む鳥は好き)
⇒シジュウカラ、ウグイス、コゲラなど



清潔感のあるすっきりとしたサロン内。黄土製の座浴椅子は遠赤外線効果があり、よりよく体が温まるそうだ



33種類のハーブの中から直感で好きな香りを選ぶ。いくつ選んでも、1つも選ばなくてもOK

リラクゼーションサロン Millela(ミルラ) 完全予約制

- 坂井市春江町江留下宇和江3 サンパール105
- 0776-43-0810
- 午前10時～午後7時
(最終予約受付午後6時30分)
- 第1・第3日曜日、祝日 ● 2台
- 予約は24時間予約可能なホームページの予約フォーム、またはLINE(ID: @4874fkw)から
- ホームページで情報発信中

今月の読者アンケートプレゼント

紙面をより良くしていくためにアンケートにご協力ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

■ 方 法
①希望のプレゼント ②住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業 ③現在購読の新聞名 ④おすすめのおいしい飲食店 ⑤読者からのお便りコーナー、テーマ「大そうじ」への投稿を記入の上、下記のいずれかの方法でお送りください。

- はがき [宛て先] 〒910-0005 福井市大手3-2-13 中日新聞分室内 「さんぼみち 11月号プレゼント」係
- メール osanpo@fukuikoho-c.co.jp
- LINE さんぼみち公式アカウント ID: @059fzwww

LINE限定プレゼント
「ハーモニーホールふくい」チケット引換券 2人
詳しくはカラー面をご覧ください。

締め切りは11月22日(火)必着
※当選者の発表は、プレゼントのお届けをもって代えさせていただきます。

読者からのお便りコーナー

お便り 「最近大いしたこと」

欲しい物をメモに書いて買い物に行くのですが、年のせいか、そのメモを置いてきてしまい、買い物場にならなくなる。妻と二人で大笑いしています。(鯖江市 60代 男性)

先日買い物途中にめいっ子を見つけ、後ろからそっと近づき、耳元でパチンと音を鳴らしました。振り向いた彼女は別人。「ごめんなさい」と謝る私は、店員や周りの人たちにも大笑いされました。(大野市 40代 女性)

散髪屋で髪を整えてもらい帰宅したら、孫に「じいじ、カッコいいわ」と言われた時、思わず大笑い!(福井市 60代 男性)

旦那があるお笑い芸人にそっくりなんです。テレビにその芸人が出ていた時に、その場にいた子どもがテレビと旦那を見比べて「いや、一緒やん! (笑)」と言ったこと。(福井市 40代 女性)

子どもが大笑いするときに、インディアンの踊りのように体全体を振りながら笑います。それを見て、大人も笑っています。(あわら市 30代 女性)

夫とJRに乗るときに、なぜか思い込みで反対方向のホームに…。気づいた時には移動もせずに遅し。ドジさになんだか大笑い。(福井市 60代 女性)

同年代の友達との会話の中で「アレってアレなんやっただけ?」「あ～思い出せぬわ。」「アレ!」の会話が続いたときに大笑いになりました。(福井市 60代 女性)

2歳の子どもが、おまごとの包丁をマイクにして歌っていた時に大笑いしました。(福井市 30代 女性)

投稿募集
投稿してくださった皆さま、ありがとうございました。次回のテーマは「大そうじ」です。いよいよ年末、大そうじの時季がやってきました。そうじに関するエピソードやコツ、裏技などを教えてください。※内容を突えない範囲で手直しすることがあります。ご了承ください。

個人情報保護法
さんぼみちはお客様に安心して読んでいただくための個人情報保護を、さんぼみちのホームページにおいて徹底して行っています。